

〈ミッション〉  
自 立  
追 究  
共 生



# 未来創造

松江市立義務教育学校  
玉湯学園 だより  
令和7年4月21日  
文責 田中 修

今年度のキーフレーズ

～自ら「気づき・考え・実行する」玉湯学園生のプライドをもって Let's GO～

## 2025(令和7)年度がスタート！！ スタッフを紹介します。【取り扱いには、ご注意ください】

| 担当等       | 氏 名    | 担当等      | 氏 名   | 担当等       | 氏 名            |
|-----------|--------|----------|-------|-----------|----------------|
| 校長        | 田中 修   | 5年主任担任   | 関野 恵愛 | 9年担任      | 小林 裕介          |
| 教頭        | 和田 律央  | 5年担任     | 米津 楽  | みのり担任     | 目次 明美          |
| 教頭        | 籠橋 剛   | 5年担任     | 吉岡 宏幸 | 9年副担任     | 石倉 千草          |
| 1年主任担任    | 多久和久美子 | たんばぽ1組担任 | 小林 真嗣 | 9年副担任     | 室 めぐみ          |
| 1年担任      | 石飛 彰太  | 専科(図・家)  | 福間 聖子 | 初任研指導     | 加藤 潮           |
| 1年担任      | 中谷 康希  | 6年主任担任   | 戸屋 誠司 | 初任研指導     | 前田 眞利          |
| 1年担任      | 福井 恵   | 6年担任     | 小野 緑  | 事務        | 野口 美香          |
| たいよう担任    | 永末 晴菜  | 6年担任     | 井上こず恵 | 事務        | 中村 裕実          |
| 養護助教諭     | 金織 真紀  | ひまわり担任   | 實重 悦子 | にこ特       | 小笹 裕子          |
| 2年主任担任    | 犬山 晶子  | 7年主任     | 瀬崎 邦博 | にこ特       | 永田 典子          |
| 2年担任      | 中本 彩海  | 7年担任     | 加藤ひとつ | にこサポ      | 佐藤さゆり          |
| 2年担任      | 松尾 竜馬  | 7年担任     | 石倉 啓順 | 校務技師      | 布野 隆二          |
| たけのこ担任    | 小草 弘恵  | 7年担任     | 樋原 健太 | 学校司書      | 奥田日南子          |
| 音楽専科      | 大森なお子  | ゆうあい担任   | 内田 凜  | 学校司書      | 周藤三枝子          |
| 非常勤(支援)   | 島谷 佳恵  | 7年副担任    | 瀬崎由香梨 | サポートワーカー  | 今井 英昭          |
| 3年主任担任    | 澄川 明子  | 養護教諭     | 片岡 沙織 | 特別支援教育支援員 | 田邊 未暁          |
| 3年担任      | 三島 諒   | 8年主任     | 杉村 正樹 | SSS       | 恩田みどり          |
| 3年担任      | 安部 夏海  | 8年担任     | 竹下 侑也 | 地域学校Co.   | 内部佳代子          |
| たんばぽ2組担任  | 犬山 輝美  | 8年担任     | 林原 晴佳 | SC        | 和田 衣世          |
| 4年主任担任    | 堀江 徹   | のぞみ担任    | 中林 祥憲 | 校務支援員     | 園山 裕加          |
| 4年担任      | 塚野 千歳  | 8年副担任    | 野津 健一 | 校務支援員     | 勝部 利久          |
| 4年担任      | 宮本はなの  | 8年副担任    | 小笹 浩子 | 英語指導員     | 山本三恵子          |
| 4年担任      | 板垣 恵美  | 9年主任     | 藤原 里香 | ALT       | ジェレミー<br>メクラフト |
| 専科(理・社・書) | 富田 誠一  | 9年担任     | 金崎 萌恵 |           |                |

### 【役職名が省略してある職務等について】

「にこサポ」にこにこサポートに係る非常勤講師です。

「にこ特」特別な支援のための非常勤講師です。

\*いずれも島根県教育委員会の事業です。本校では、前期課程で通常学級に、前期・後期課程で特別支援学級についてサポートをします。

「初任研指導」初任者研修の対象となる新任教員の研修指導を担当する教員です。(前期・後期課程で別)

「サポートワーカー」児童生徒の相談活動や見守り、関係諸機関との連携などをする役職です。本校では、支援室の担当をしています。

「地域学校 Co.」ボランティアや地域活動のコーディネートをしします。

「SSS」スクール・サポート・スタッフの略です。教員の庶務的な仕事をサポートします。

「SC」スクールカウンセラーの略です。児童生徒、保護者や教員に対し、希望によりカウンセリングをします。

この他3名が育児休業のため、年度はじめには不在です。それぞれの職務はありますが、学年部や校務分掌の枠を超え、「チーム玉湯学園」でがんばります。よろしくお願いします。

ホームページもぜひご覧ください！



二次元コードをご利用いただくか、「玉湯学園ホームページ」で検索ください。  
※「つれづれ日記 2025」の写真については、活動の様子が分かる範囲にし、明度や彩度を低くしております。お気づきのことがありましたら、ご一報ください。

## 始業式での、「3つの言葉」は…

4月8日（火）、着任式に続き始業式を行いました。昨年度までは、前期ブロックと中期・後期ブロックの着任式、始業式、終業式は別々に開催していました。今年度からは、全校児童生徒が第2体育館に集まり、学園の一体感をもちながら式に臨むことにしました。

着任式では、新しく仲間入りした22名の教職員を紹介し、始業式では、担任や部活動顧問などを発表しました。桜の花が鮮やかに咲き、児童生徒の校歌が響き渡る中、本当に心温まるスタートとなりました。

あいさつでは、3つの言葉を紹介しました。

### （1）自ら「気づき・考え・実行する」

中期・後期ブロックの児童生徒には、昨年度から伝えていました。今年も、主体的に学んだり活動したりできるよう、気づきと協働を大切にしてほしいです。前期ブロックの児童にも、授業や学校生活での「なぜ？」を大切に、みんなで協力して考えを深め、実行するところまでつなげてほしいです。

### （2）プライドをもって

玉湯学園で「学べてよかった、生活できてよかった」と自信と安心感をもって振り返られるような1年にしたいです。

### （3）レッツGO！

学園創立5年目の今年、明るく、前向きに進んで行きましょう。辛い時や苦しい時は一人で抱える必要はありません。早めに打ち消し合い、皆で元気を取り戻しましょう。

## 1年生の皆さん

### 入学おめでとう！！

4月9日（水）、新入生101名を迎えて、入学式を行いました。4年生と9年生が式場で、他の学年は各学級でリモートにより参加しました。また、2年生が歓迎の歌とダンスでお祝いしました。

昨年度と同じく、1年生が元気に生活できるよう、2つの大事な「あ」の話をしました。

### 【あ】んぜん

☆決まりを守って、命を大切にしよう。

特に交通安全のために、ルールを守ろう。

### 【あ】いさつ

☆皆が気持ちよく生活するために、あいさつをしよう。朝や帰りはもちろん、特に大切な「ありがとう」「ごめんね」が言えるようにしましょう。

2年生・4年生による歓迎セレモニー



9年生による生徒代表あいさつ



教室で担任の先生と



新入生、転入生の皆を迎え、今年度は全校の児童生徒数が798名になりました。

★玉湯学園だからこそできる！

★義務教育学校だからこそできる！

そんな活動に挑戦したいと思います。

## 春の交通安全運動 & 自転車マナーアップ運動

今年も、4月6日(日)から15日(火)までの10日間、春の交通安全運動が実施されました。8日(火)には花仙橋でPR運動が、10日(木)には玉湯学園校門で自転車マナーアップ運動が実施されました。

玉湯地区の交通安全協会や交通安全対策協議会をはじめ、地域の皆さんには日ごろからご協力いただいています。

集団登校や自転車通学に慣れない1年生、7年生だけでなく、全学園の児童生徒が安全に登下校できるようにと願っています。



↑ 早朝より、地域の皆さんが花仙橋周辺で。

← 日頃から自転車のマナーアップを心がけよう！

### 令和7年度 玉湯学園経営方針 について

令和5年度の全国学校基本調査の結果をみると、小学生は10万2千人、中学生は2万8千人と減少する中、義務教育学校の児童生徒数は、8千2百人増加しています。今後も、全国的に義務教育学校は増えていきます。

昨年度までに、児童生徒や保護者の皆さん、教職員や地域の皆さんが試行錯誤を繰り返しながら、様々な苦勞を乗り越えて玉湯学園の基礎をつくり上げてくれました。

5年目の今年も、今までの礎(いしずえ)を大切に、前に推し進めたいと思います。保護者、地域の皆様にも、引き続きご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

## 教育目標 「未来を創造する」

サブテーマは、「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」です。「自立・追究・共生」が、校訓のように掲げられていました。個の力(自立・追究)を伸ばし、お互いの力をつないで(共生)、よりよい社会を創造してほしいと願っています。



## ジダイをリードし、 あいにあふれた社会形成の力を育む

ジダイとは、今の時代と次世代の両方を意味します。一貫教育だからできる「4・3・2制」の特性をフルに生かして、他校にはできない教育活動を展開し、児童生徒が今現在はもちろん、次代をリードする人材となってほしいと願っています。そして、よりよい社会を積極的に創造する力を育てていきたいです。

「あいにあふれた」とは、「認めあい」「支えあい」「高めあい」の社会であり、それが愛をもってつながれば、一人一人が豊かに生きる社会になるのではないかと考えています。



## 自ら「気づき・考え・実行する」 玉湯学園生のプライドをもって

様々な場面で、課題に気づき、多面的・多角的に個人で追究し、あるいは多くの人と協働して考えを深め、正しい判断をして実行に移してほしいです。

プライドとは、頑ななこだわりではなく、自信と安心感を伴った柔らかな気持ちであってほしいです。苦しいことや辛いこと、上手くいかないこともたくさんあるでしょうが、玉湯学園生のプライドをもって乗り越えてほしいと思います。

以上のことは、昨年度も示しました。裏面も見てください、本学園の教育活動の全体像をイメージしていただければ幸いです。

